



消防の広域化が実施されると 入間市のはしご車が削減に

入間市、所沢市、狭山市、飯能市、日高市の5市で、消防本部をひとつにする消防の大合併＝「消防の広域化」の検討が進められています。

デメリットの検証も必要です。

消防力の低下を招く広域化やめよ

デメリットについては検証せず

現在、5市が集まり広域化を検討する協議会が設置され、審議が行われていますが、「広域化した場合のメリット・デメリットを具体的な事例を盛り込み検証する」としながらデメリットについて、未だ何も検討されていません。私の指摘に対し、市長は「考え方によりメリット・デメリットの判断は異なる」との言い訳に終始しました。市民や議会に公正な判断をしてもらうためには、

さらに広域化されると、入間市に2台しかないはしご車のうち1台が削減されることが明らかになっています。

これについて市長は「はしご車が減ることをマイナスとは考えていない」と答えました。しかし、現在でも入間市のはしご車は基準より1台少なく、充足率を満たしていません。さらに削減されることになれば、消防力の低下を招くことは間違いありません。

市長は「広域化は必要」と言っていますが、消防力の低下を招く広域化よりも消防職員や車両の補充こそ必要です。

テレビ難民を生みださないために



7月24日から地上デジタル放送の完全移行が実施され、アナログ放送が見られなくなります。国は、低所得世帯に対しチューナーの支給など支援制度を実施していますが、それでも地デジ対応は全ての世帯で完了していません。

私が「国に地デジ化完全移行の延期を求めるべき」と質したところ、市長は「国が決めたことで、特にそういった申し出をするつもりはない」と答えました。このままでは、テレビが見られなくなる「テレビ難民」が生じてしまいます。

国に対して、地デジ完全移行の延期や支援制度の充実を求めるべきです。

日本共産党 吉沢かつら
市議会議員



フレッシュレポート

No24
2011年夏号

みなさん、こんにちは。蒸し暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。省エネも必要ですが、何よりも身体と健康が大事です。熱中症などにお気を付け下さいね。

私は、今年こそ夏バテしないようにと、体力づくりに心がけています。夏生まれの私。暑さには負けないぞう！

ホームページ見てね！

日本共産党入間市議団のホームページをご覧ください。吉沢かつらのページは毎日更新中です！

住宅耐震改修補助制度の実施を

木下市長「前向きに検討している」

6月議会では「大災害から市民の生命と財産を守る」をテーマに一般質問を行いましたので、ご報告させていただきます。

「入間市建築物耐震改修促進計画」では、住宅の耐震化率を平成20年の80%から平成27年度までに90%に引き上げることを目標にしています。しかし、耐震改修には費用がかかり、住宅の耐震化は進まない現状にあります。

私は、耐震化促進のために耐震改修補助制度の実施を求めました。これに対し市長も「必要性は認識している。前

向きに検討している」と答えました。

この制度は、所沢市、狭山市、飯能市など、すでに県内64自治体のうち48自治体の実施が待たれます。



7月2日に明治公園で開かれた原発ゼロを目指す緊急集会に参加しました。

入間市駅で宣伝を行っています。見かけたら気軽に声をかけて下さい

長期・広域の放射能から生活守れ

6月定例会市議会

原発廃止し自然エネルギーへの転換を

共産党は原発廃止を主張

日本共産党入間市議団は4名全員が一般質問を行いました。それぞれの議員が防災行政、放射能対策、エネルギー政策と地域の懸案事項を取り上げました。

多くの議員が、災害対策や防災対策などを取り上げましたが、原発からの撤退を主張したのは日本共産党入間市議団だけでした。

日本共産党は5年から10年の期限を決めた原発廃止を政府に提言しました。

日本は、太陽光、風力、バイオマス、波力、地熱などの自然エネルギーが、大変豊富です。

今は、原子力の特別優遇のもと、国のエネルギー関連予算のなかで、原子力関連が約4000億円あります。また、使用済み核燃料(死の灰)の再処理費用などに年間2500億円が使われており、合わせて6500億円です。一方で、自然エネルギーをふくむ新エネルギー関連予算は1500億円です。

政策を転換すれば、6500億円の資金を、自然エネルギーの財源に振り替えることができます。

今後も共産党市議団は、危険な原発依存から持続可能な自然エネルギーへの転換を求めています。

市内14カ所の放射線測定結果

| 測定日 | 学校名 | マイクロシーベルト 測定値(μSv/時) | |
|-------|---------|-------------------------|-------|
| | | 50cm | 100cm |
| | | 6月29日 | 豊岡小学校 |
| | 扇小学校 | 0.060 | 0.059 |
| | 黒須小学校 | 0.059 | 0.058 |
| | 高倉小学校 | 0.063 | 0.063 |
| | 黒須保育所 | 0.070 | 0.065 |
| | 藤沢小学校 | 0.058 | 0.055 |
| | 藤沢第二保育所 | 0.057 | 0.056 |
| | 東金子小学校 | 0.064 | 0.062 |
| | 金子小学校 | 埼玉県が7月中に調査を実施 | |
| 6月30日 | 金子第一保育所 | 0.058 | 0.056 |
| | 宮寺小学校 | 0.052 | 0.050 |
| | 二本木保育所 | 0.046 | 0.044 |
| | 武蔵中学校 | 0.054 | 0.051 |
| | 西武小学校 | 0.064 | 0.060 |
| | 野田中学校 | 0.048 | 0.046 |

原発事故の意見書採択

意見書は、事故を一刻も早く収束させること、事故の現状や放射能汚染に関する情報、被曝防護に関する情報を国民に提供し、適切な範囲の住民を速やかに避難させること、国と東京電力は事故の被害を受けた国民に支援と補償を行うこと、原発事故を2度と起こさないために自然エネルギーへの転換を進めること、農産物の出荷規制にかかる放射線量の「暫定規制値」について国際水準に見合うよう見直すこと、以上の5点について国に要請しています。

共産党議員の一般質問

小出わたる議員

原発依存から自然エネルギーへ

吉沢かつら議員

住宅耐震補助・消防広域化・地デジ

石田よしお議員

狭山茶汚染対策・防災計画見直し

安道よし子議員

施設の耐震化・放射線量の測定

来年からシルバーサービスのタクシー券が廃止に

市が高齢者福祉審議会に諮問した「シルバーサービス事業の見直しについて」の答申内容が、市・執行部から全員協議会で議員に報告されました。

現在、シルバーサービス事業は73歳以上の全ての高齢者を対象に、あんま・マッサージ券、タクシー利用補助券、ラドンセンター利用補助券を配布しています。

答申では、「マッサージ券については23年度から対象年齢を縮小、タクシー券

とラドンセンター券については23年度をもって廃止」としています。

タクシー券は公共交通が不便な地域に住んでいる人や足が不自由な高齢者に喜ばれていた制度です。市が取り組んだアンケートでも「タクシー券をなくさないでほしい」という要望が出されています。

タクシー券がなくなれば、足の確保が困難な高齢者はさらに外出が困難になります。事業を継続すべきです。



原発廃止も主張された今年の平和行進

日本共産党市議会報告

2011年7月 発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

| | | |
|-------|-----------|---------------|
| 石田よしお | 2964-4048 | 070(5086)2075 |
| 安道よし子 | 2962-8082 | 090(4811)0553 |
| 吉沢かつら | 2964-0208 | 090(3514)3077 |
| 小出わたる | 2932-7884 | 090(6542)3883 |